

## キリスト教はどうして世界宗教になったか？



### キリスト教前史

- ・ユダヤ＝ローマ帝国ヘロデ家の支配下  
民衆の不满
- ・党派分立
  - サドカイ派（エルサレムの貴族，上級祭司の党派）＝ヘレニズム文化
  - パリサイ派（下級祭司の党派＝律法に忠実，メシア（復活）思想
  - エッセネ派（洞窟に陰遁，終末思想）
  - 熱心党（ローマへの武力闘争を主張する革命派）

### イエス・キリスト（紀元前4？～29）略歴

- ・12月24日（冬至の翌日で太陽の復活を暗示する）ガリラヤ地方ナザレにて父大工ヨセフ，母マリアの間に生れる（福音書はマリアの処女懐妊説）
  - パリサイ派の影響を受ける
  - 30才頃洗礼者ヨハネから受洗＝宗教的覚醒（「これは我が愛しむ子，我が悦ぶ者なり」）
  - 荒野で40日間の断食（悪魔の試練＝「人の生くるはパンのみによるにあらず」，「汝の神を試むべからず」，「主なる汝の神を拝し，ただ之にのみ仕え奉るべし」）
  - バプテスマのヨハネ，ヘロデ王によって殺害される（歌劇『サロメ』の主題）
  - イエス，ナザレを去って，ガリラヤの地へ「なんぢら悔い改めよ，天国は近づきたり」
  - 神の国の到来を宣言（山上の垂訓）
  - 貧民階級，買春婦，収税吏，病人，罪人の救済（福音書では奇跡多数記録）
  - メシヤ期待の中で民衆熱狂的支持
  - 十二使徒＝ユダヤの12支族からの数合せ（ペテロとアンデレ兄弟，ヤコブとヨハネ兄弟，ヒルヒ，バルトマ，イマスマ，熱心党のシモン，アルバヨの子ヤコブ（ユダ），イスカリオテのユダ）を選ぶ
  - パリサイ人と論争，パリサイ派から安息日の規定を守らないとして告発を受ける
  - 民衆のメシヤ期待消滅
  - 反ローマと看做され，サドカイ派からも迫害さる
  - エルサレムの過越祭（モーゼの出エジプトを記念する祭，原初的には春の牧畜の祭）に上京
  - 最後の晩餐（イスカリオテのユダの裏切りを予言）
  - ゲッセマネの園で最後の祈り（ペテロの3度の嘘を予言）
  - ポンティウス・ピラトスによって捕縛さる
  - ゴルゴダの丘にて十字架上で磔刑（31才頃．当日は皆飢日食あり，

### 第三部 キリスト教

「エリ、エリ、レマ、サバクタニ（我が神、我が神、なんぞ我を見捨て給いし）」が最後の言葉）  
マグダラのマリヤらによる復活の確認  
地上再臨の期待盛り上がる  
メシア運動へ発展  
原始キリスト教団の成立

### キリストの思想

- ・ローマからの政治的な解放や独立ではなく精神的自立を説く
- ・厳しい倫理（山上の垂訓）を主張するも、律法を形式的に守ることに反対
- ・最下層民（収税吏、売春婦）の救済，異邦人の無差別化 反選民・反啓典の民思想
- ・愛の神であってユダヤ教の試練の神（ cf. 『ヨブ記』 ）ではない  
神と人間との和解  
救済の宗教  
愛の宗教へ

### キリスト教の普及と変遷

- 復活とメシア思想の復活  
ナザレ人の原始キリスト教会成立 = 聖餐（洗礼とパンを食べる）の儀式の導入  
紀元70年頃ユダヤ教衰退，パウロの布教活発化  
地中海沿岸諸都市のユダヤ人に普及（ AC 2世紀）  
キリスト教のヘレニズム化が始る  
ローマ帝国による迫害（ cf.カタコンベの遺跡）  
コンスタンティヌス帝キリスト教擁護（紀元324年）  
第1回公会議（325年）開催：神と子の一体説  
第2回公会議（381年）：神と子と聖霊の「三位一体説」を確立  
ローマ帝国の国教化  
（395年ローマ帝国東西に分裂）  
（476年西ローマ帝国滅亡）  
ローマ教会成立 = カソリック（普遍を意味する）教会  
東ローマ（コンスタンティノポリス教会，東方教会，ギリシャ正教）教会と対立  
1054年東西教会分裂
- ・ローマンカソリック教会 = 聖ペテロを初代法王と称する  
8世紀イングランドへ  
10世紀神聖ローマ帝国成立  
政治的発展 = 政教一致  
14世紀ルネッサンスの波に洗われて衰退（教皇のアビニヨンの捕囚）  
イギリス国教会などへ（ 聖公会）
  - ・東方教会  
理論的，瞑想的，芸術的宗教へ

## 第三部 キリスト教

イスラームの圧迫から北上  
988年モスクワ公国へ宣教  
1453年トルコにより東方教会滅亡  
1589年モスクワに主座を移転(ロシア正教へ)

### 福音書

万人に向かって開かれた神の悦ばしい知らせを意味する  
時代順に「マルコによる福音書」( AC50年頃)  
「マタイによる福音書」  
「ルカによる福音書」  
「ヨハネによる福音書」( AC150年頃) = 前3者を共観福音書(内容が類似の記事で出来ている)

### 新約聖書

神とイスラエルの民の間の契約は、イスラエルの民の不履行によって破棄され新しい契約が全人類との間で新たに為されたとする = 『福音書』, 『使徒行伝』などを含み, 『ヨハネの黙示録』(ローマ帝国の滅亡を説く)までをいう。

### 宗教改革

・1517年マルティン・ルター (1483~1546) ウィテンベルグ城に「九十五箇条の論題」= 免罪符に抗議 = 世俗社会の聖化を主張  
抗議する者の意味で「プロテスタント」と呼ばれる  
聖書の外国語(ドイツ語)翻訳, 讃美歌の作曲  
北ヨーロッパへ布教  
宗教戦争頻々と発生

・ジャン・カルヴァン (1509~1564) = 禁欲主義, 予定説, 召命思想  
フランス, ドイツ, オランダ, スコットランド  
ユグノー主義, 改革派, 清教徒 (ピューリタン)  
近代資本主義社会構築の原動力  
墮落へ

### ・キリスト教の宗派

長老派(プレスビテリアン)(オランダ), 会衆派(英国), 浸礼派(バプテスト派)(英国), キリスト友会(フレンド派, クウェーカー(震える者の意))(英国), メソジスト派(救世軍など = 山梨英和学院, 甲府教会などはこの派), エホバの証人(ものみの塔)(米国), モルモン教(末日聖徒イエス・キリスト教会)(米国)

・カソリック内部の対抗改革 = 1534年イグナティウス・デ・ロヨラのイエズス会創設  
東南アジア, 南米へ布教  
植民地主義と合体  
室町末期日本へ(ザビエル, フロイス等)